

令和3年度

第1回水戸市酒門市民センター運営審議会

日時 令和3年6月9日(水)

午前10時00分から

場所 水戸市酒門市民センター ホール

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 令和2年度利用状況について

(2) 令和3年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

(3) 令和3年度事業計画(案)について

(4) その他

4 閉 会

水戸市酒門市民センター運営審議会委員名簿

任 期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

(順不同・敬称略)

氏 名	役 職	備 考
1 有 川 秀 男	ふるさと酒門をつくる会会長	会 長
2 大 場 政 義	酒門いきいきスポーツクラブ 運営委員	副会長
3 山 口 和 枝	社会福祉協議会酒門支部副支部長 民生委員	
4 苅 谷 一 郎	ふるさと酒門をつくる会副会長	
5 澤 井 しげ子	酒門小学校施設夜間開放運営委員	
6 石 塚 昌 義	酒門小学校校長	

■水戸市酒門市民センター職員紹介

役職名	氏 名	担 当
所 長	井 上 雄 策	管理運営全般
会計年度任用職員	根 矢 尚 美	定期講座, 女性学級, (ふ) 生活環境部会
会計年度任用職員	福 原 宣 子	高齢者学級, (ふ) スポーツ・福祉厚生部会
会計年度任用職員	大 澤 步	家庭教育関係, (ふ) 総務・交通防災部会
会計年度任用職員	大 西 恵 理	幼児教育関係, 女性学級, (ふ) 総務部会

令和2年度 利用状況について

- ※施設の利用制限 ①4月1日から5月31日まで中止 ②6月1日から一部を除いて再開 ③6月13日から調理室を除き再開
 ④7月1日から全施設利用再開 ⑤8月1日から8月30日まで高齢者の利用自粛要請
 ⑥9月3日から10月4日までカラオケ、コーラス等の中止
 ⑦1月18日から2月7日まで県独自の緊急事態宣言発令により中止 ⑧2月8日から再開

【月別利用件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホール	-	-	24	45	22	26	39	40	37	13	29	46	321
和室	-	-	3	5	3	5	10	8	6	4	2	5	51
学習室	-	-	19	30	11	27	31	24	21	9	9	20	201
調理室	-	-	-	1	0	1	2	2	2	1	0	1	10
計	-	-	46	81	36	59	82	74	66	27	40	72	583
元年度	73	82	88	92	60	81	71	86	85	79	77	0	874

【月別利用人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホール	-	-	357	627	287	305	592	570	562	142	281	657	4,380
和室	-	-	27	31	25	37	95	75	53	44	23	46	456
学習室	-	-	140	238	95	202	258	159	153	52	47	122	1,466
調理室	-	-	-	13	0	11	18	17	18	13	0	12	102
計	-	-	524	909	407	555	963	821	786	251	351	837	6,404
元年度	1,012	1,335	1,155	1,710	1,230	1,179	850	1,033	1,161	1,121	982	0	12,768

【月別図書貸出】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
冊数	28	22	0	1	2	6	3	4	2	0	0	2	70
人数	8	8	0	1	1	4	2	1	1	0	0	1	27
元年度冊数	8	8	11	20	17	4	8	3	4	4	1	0	88
元年度人数	8	8	8	7	7	4	6	3	4	4	1	0	60

【年度別利用状況】

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
件数	1,260	1,125	1,082	797	1,032	1,049	1,100	1,137	1,124	1,055	1,050	874	583
人数	19,721	25,842	20,508	16,421	16,067	14,057	15,233	15,513	14,999	14,358	14,459	12,828	6,431

令和3年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標

運営方針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。市民センターにおいては、コロナ禍における感染症対策を徹底したうえで、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重点目標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラザ実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を推進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リソースや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集等を活用し、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、家庭教育学級を開催するほか、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出
市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり
生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進
市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

家庭・地域・学校が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団での交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭教育の向上だけでなく、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3) 令和3年度 事業計画(案) について

1 地域コミュニティ活動の推進

コロナ禍における感染症対策を徹底したうえで、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努める。

(1) 酒門地区主要事業

【水戸市体育祭関係】

期 日	曜	事 業 名	備 考
10月24日	日	第60回酒門地区市民運動会	中 止
10月30日	土	酒門地区市民歩く会	コース未定

【敬老会】

期 日	曜	事 業 名	備 考
9月19日	日	令和3年度酒門地区敬老会	詳細未定

【第28回ふれあい酒門まつり】

期 日	曜	事 業 内 容	場 所
3月 6日	日	○作品展示・芸能発表 ○ふれあい広場 地区関係団体 ○特別参加 酒門幼稚園 酒門小学校金管バンド部 水戸第四中学校吹奏楽部 他	コミュニティ センター 市民センター

2 地域防災組織活動の推進

東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていく。その中で、地域防災活動の基本となる防災組織について、水戸市発行の「地域防災活動（避難所運営）マニュアル」を参考にしながら、ふるさと酒門をつくる会と協議し、現状に即した組織づくりを支援していく。また、防災訓練・研修等を市関係機関と連携を図り、実施に向けた支援を行う。

3 生涯学習活動の推進

(1) 定期講座

【教室】

期 日	曜	講 座 名	講 師	場 所	人 数
第2	金	たのしい童謡教室	飛田淳子 増渕亜依	市民センター	31
第1	土	たのしい蕎麦打ち教室	小林茂	市民センター	17

【クラブ】

期 日	曜	講 座 名	講 師	場 所	人 数
第1, 2, 4	月	気功太極拳クラブ	鯉沼純子	市民センター	18
第1, 3	月	フラダンス	篠田純子	市民センター	11
第1, 3	月	陶芸釉友	(自 主)	市民センター	6
第1, 3	火	茶道 (表千家)	檜山洋子	市民センター	3
第1, 3	火	コミュニティーカラオケ	岬ゆう子	コミュニティーセンター	20

期 日	曜	事 業 内 容	講 師	場 所	人 数
第2, 4	火	書道	楊 厚 志	市民センター	12
第3	水	お菓子づくり	塚 原 秩 子	市民センター	15
第1, 3	水	フオークダンス	海老沢 あや子	市民センター	6
第2	水	リフレッシュ3B体操	大 内 幸 子	市民センター	4
第2, 4	木	囲碁	(自 主)	市民センター	13
第2, 4	金	フラーアレンジメント・ ガーデニング	鈴 木 花図美	市民センター	12
第1, 3	金	絵てがみ	鯨 和 子	市民センター	15
第1, 3	月	ペン習字	(自 主)	市民センター	3
第1, 3	金	さかどカラオケ	上 杉 京 子	市民センター	10
第2	土	レジャークラフト	栗 原 理 子	市民センター	9

(2) 一般教養講座

【酒門女性学級 (成人女性対象)】

期 日	曜	事 業 内 容	講 師	場 所
9月 4日	金	移動学習 (常陸太田市～那珂市) ヨネビシ醤油～木内酒造～那珂市歴史民俗資料館		
11月19日	金	簡単収納術講座	末安 恵子 先生	市民センター
12月17日	金	Xmas イタリア料理教室	神長 里美 先生	市民センター

【酒門学級（高齢者対象）】（酒門地区高齢者クラブ連合会との共催事業）

期 日	曜 日	事 業 内 容	講 師	場 所
10月 1日	金	移動学習 石切り山脈・旧つくば海軍航空隊司令部庁舎他		笠間市方面
10月26日	火	茨城県警察音楽隊 「演奏会と詐欺防止, 交通安全講話」		酒門コミュニ テイセンター
2月25日	金	味噌づくり教室	秋葉味噌醸造 (株)	市民センター

(3) 家庭教育講座

【酒門ふれあい学級】（酒門幼稚園との共催事業）

期 日	曜 日	事 業 内 容	講 師	場 所
7月14日	水	骨盤体操教室 (保護者対象)	根本 貴世子 先生	市民センター
11月		親子ヨガ教室・育児相談	十万 久美子 先生	酒門幼稚園 (年少組)
11月		出前講座「お家の防災教室」	水戸市防災・危機管理課	酒門幼稚園 (年長組)

【家庭教育強化事業】（子育て広場との共同事業、酒門小学校との連携事業）

期 日	曜 日	事 業 内 容	講 師	場 所
6月23日	水	親子ヨガ・育児相談	子育て支援パートナー 十万久美子 先生	市民センター
9月22日	水	検討中		
12月16日	水	クリスマス会	ふるさと酒門をつくる会 福祉厚生部会	市民センター
1月21日	金	酒門小学校新入児保護者講座	矢口みどり 先生	酒門小学校

【青少年教育講座】(子どもの居場所づくり事業)

期 日	曜	事 業 内 容	講 師	場 所
8月 3日 4日	火 水	夏休み絵画教室 午前コース 午後コース	絵画講師 関口 広子 先生 照沼めぐみ 先生	市民センター
8月11日	水	夏休みオセロ教室	水戸市文化交流課	市民センター

【こどもスペース】

子どもたちが勉強や遊びなど自由に過ごせる場所として、下記の4か所の市民センターに4月から開設した。

市民センター名	酒 門 (図書コーナー)	桜 川 (図書室)	大 場 (図書コーナー)	内 原 (市民サロン)
定 員	10人程度	20人程度	15人程度	30人程度
利用できる日※	毎週 月・水曜日		毎週 火・木曜日	

※祝日, 12月29日~1月3日は不可, その他施設の都合で休みにする場合がある。

【利用条件等】

利用対象者	小学生 (自分で自宅と市民センターとを行き来できる方)			
利用時間	午後3時から午後5時まで (10月~2月は午後4時30分まで)			
利用料	無 料			
利用方法	<p>○事前の予約は必要ありません。</p> <p>○子どもたちの安全確保のため, 受付簿に氏名, 学校名とクラス名を記入する。</p> <p>○飲食は原則としてできない (水分補給のための水筒持参は可能)。</p> <p>○利用するときの決まり事を守る事。</p>			

【利用状況】

月	延べ利用者数	学年	利用時間
4	11人	3・6年生	30分から2時間
5	4人	6年生	30分・1時間15分

(4) 地域連携事業

【酒門地区オセロ大会】

小学生から高齢者まで、多世代で交流することができるとオセロ大会を開催する。初めて実施する事業のため、ふるさと酒門をつくる会と連携を図り、開催に向けた支援に努める。

期 日	曜 日	事 業 内 容	場 所
11月	土	酒門地区オセロ大会	市民センター

【第28回ふれあい酒門まつり】

ふれあい酒門まつりは、市民センター定期講座の貴重な発表の場であるため、多くの講座の参加を促す。

【子育て広場】

ふるさと酒門をつくる会と連携し、積極的にPRを行うとともにイベントを盛り込むなど地域全体での子育て世代への支援に努める。

4 その他